

授業科目	＊助産診断・ケア学Ⅵ(健康教育演習)					実務家教員担当科目	○		
単位	2	履修	必修	開講年次	1	開講時期	通年		
担当教員	古賀 玉緒／山田 恵／前田 幸／新郷 朋香								
授業概要	本科目では、周産期やその他のライフステージにある対象への健康教育の意義・技法を学習しする。既習の科目で学んだ知識や技術を活用し、企画書や指導案、媒体を作成し実施する。その中で、健康教育に必要な知識や技術を修得する。 また、課題に取り組むことで、各ライフステージの対象に必要な指導の視点を学習する。 以上のことについて、実務家教員として地域・教育・臨床等で実務経験を有する教員が教授する。								
授業形態	対面授業			授業方法	ディスカッション・グループワーク・個人ワーク				
学生が達成すべき行動目標									
標準的レベル	1. 思春期・妊娠期の対象に対する健康教育を実施するうえで必要な知識を説明できる。(DP1-1) 2. 受胎調節実地指導員として、基本的な知識や保健指導の方を説明できる。(DP1-1) 3. 褥婦や乳幼児を持つは母親への健康教育の指導案を根拠をふまえて作成できる。(DP2-1,DP2-2) 4. 対象のニードにそった健康教育を安全・安楽に実施できる。(DP2-2) 5. 思春期・妊娠期・産褥期の対象への行う健康教員の指導案や教材の作成を意欲的に取り組むことができる。(DP3-1) 6. 健康教員を行う対象者への倫理的な配慮について説明できる。(DP3-2)								
理想的レベル	標準的レベルに達したうえで、既習の学習を活用し、具体的で実用可能な指導案、企画書が作成できる。 また、健康教育の演習では、対象やコミュニケーションを図り、対象者の状況をふまえ倫理的配慮をしながら展開できる。								
評価方法・評価割合									
評価方法			評価割合（数値）			備考			
試験									
小テスト			20			講義内で実施します。			
レポート			15			講義内で提示する課題にて評価します。			
発表（口頭、プレゼンテーション）			20			技術チェックにて評価します。			
レポート外の提出物			25			指導案や教材にて評価します。			
その他			20			授業における発言や積極性、レポート等の提出状況にて評価します。			
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング									
DP1	-	DP2	-	DP3	-	DP4	-	ナンバリング	MI21206J
学習課題（予習・復習）									1回の目安時間（時間）
テーマ・対象の特徴をふまえた企画書・指導案・教材について不明な点について自己学習を行い講義に臨む。									1
授業計画									
第1回	テーマ：健康教育計画の概要と目的（古賀 玉緒）								

	マタニティサイクルにおける健康教育について解説する。
第2回	テーマ：企画書・指導案の作成方法（古賀 玉緒） 集団指導における指導案の作成方法について解説する。 個人指導における指導案の作成方法について解説する。 保健指導に関連する企画書、指導概況書、教材について解説する。
第3回	テーマ：妊娠期の保健指導（前田幸 山田恵 新郷朋香） 保健指導案作成(1) 各指導項目の指導内容や方法を概説する。 ・妊娠経過と妊娠中の過ごし方 ・マイナートラブル妊娠中の異常予防と早期発見 ・妊娠期の栄養・運動 ・休息分娩の準備について
第4回	テーマ：妊娠期の保健指導（前田幸 山田恵 新郷朋香） 保健指導案作成(2) 企画書を作成する。（個人ワーク）
第5回	テーマ：妊娠期の保健指導（前田幸 山田恵 新郷朋香） 保健指導案作成(3) 指導案を作成する。（個人ワーク）
第6回	テーマ：妊娠期の保健指導（前田幸 山田恵 新郷朋香） 保健指導案作成(4) 担当教員の助言を活かし、指導案の修正を行う。（個人ワーク）
第7回	テーマ：妊娠期の保健指導（前田幸 山田恵 新郷朋香） 保健指導案作成(5) 担当教員の助言を活かし、進捗状況にあわせて指導案の修正を行う。（個人ワーク）
第8回	テーマ：妊娠期の保健指導（前田幸 山田恵 新郷朋香） 保健指導案作成(6) 担当教員の助言を活かし、指導案の修正やプレゼンテーションの練習を行う。（個人ワーク）
第9回	テーマ：妊娠期の保健指導（前田幸 山田恵 新郷朋香） 保健指導プレゼンテーション(1) 各テーマにおける指導案について全体でプレゼンテーションを行う。
第10回	テーマ：妊娠期の保健指導（前田幸 山田恵 新郷朋香） 保健指導プレゼンテーション(2) 各テーマにおける指導案についてプレゼンテーションをふまえ全体ディスカッションを行う。
第11回	テーマ：産褥期の保健指導（古賀玉緒） 保健指導案作成(1) 各指導項目の指導内容や方法を概説する。 退院に向けた保健指導 ・全身および子宮復古の経過と正常からの逸脱の予防および早期対応

	・進行性変化とセルフケア、正常からの逸脱の予防および早期対応 ・メンタルヘルスケアとセルフケア ・社会資源・活用方法（出生届・健康保険・乳幼児医療の申請方法など） ・受胎調節（避妊法） ・児の身体的特徴（生理的体重減少・生理的黄疸など）、保育環境、正常からの逸脱の予防および早期対応 ・児の清潔（沐浴指導）
第 12 回	テーマ産褥期の保健指導（古賀玉緒 山田恵 新郷朋香） 保健指導案作成(2) 担当教員の助言を活かし、指導案を作成する。（個人ワーク）
第 13 回	テーマ産褥期の保健指導（古賀玉緒 山田恵 新郷朋香） 保健指導案作成(3) 担当教員の助言を活かし、指導案を修正する。（個人ワーク）
第 14 回	テーマ：産褥期の保健指導（古賀玉緒 山田恵 新郷朋香） 保健指導案作成(4) 担当教員の助言を活かし、教材を作成する。（個人ワーク）
第 15 回	テーマ：産褥期の保健指導（古賀玉緒 山田恵 新郷朋香） 保健指導案作成(5) 担当教員の助言を活かし、教材を修正する。（個人ワーク）
第 16 回	テーマ：産褥期の保健指導（古賀玉緒 山田恵 新郷朋香） 保健指導案作成(6) 指導案・教材の作成および指導の練習を行う。（個人ワーク）
第 17 回	テーマ：産褥期の保健指導（古賀玉緒 山田恵 新郷朋香） 保健指導案作成(7) 担当教員の助言を活かし、保健指導の練習を行う。（個人ワーク）
第 18 回	テーマ：産褥期の保健指導（古賀玉緒 山田恵 新郷朋香） 退院後の母児の生活に関する指導を実施する。(1) 各自が作成した指導案にもとづいて保健指導を実施する。（技術チェック） なお、第 18 回と第 19 回は連続して行う。
第 19 回	テーマ：産褥期の保健指導（古賀玉緒 前田幸 山田恵 新郷朋香） 退院後の母児の生活に関する指導を実施する。(2) 各自が作成した指導案にもとづいて保健指導を実施する。（技術チェック）
第 20 回	テーマ：乳幼児をもつ母親への継続支援（古賀玉緒） 保健指導案作成(1) 乳幼児健診時のケア計画の概況書およびリーフレットを作成する。（個人ワーク）

第 21 回	テーマ：乳幼児をもつ母親への継続支援（古賀 玉緒） 保健指導発表(2) 乳幼児健診ケア計画を発表・指導のポイントをディスカッションを通して共有する。
第 22 回	テーマ：思春期の健康支援（外部講師） 集団指導の方法を学ぶ(1) DV・デート DV 予防教室における健康教育の実際を解説する。 -DV およびデート DV の現状について-
第 23 回	テーマ：思春期の健康支援（外部講師） 集団指導の方法を学ぶ。(2) DV・デート DV 予防教室における健康教育の実際を解説する。 -DV およびデート DV 予防活動の方法に関するポイントについて-
第 24 回	テーマ：思春期の健康支援（山田恵） 思春期の健康教育の概要について解説する。 健康教育の実施についてオリエンテーションを行う。 思春期教育の実施に向けて企画書を作成する。（グループワーク・ディスカッション） ・身体および心の変化 ・人工妊娠中絶 ・避妊法 ・セルフケア等
第 25 回	テーマ：思春期の健康支援（山田恵 古賀玉緒） 保健指導企画書作成(1) 担当教員の助言をいかし、思春期教育企画書を作成する。（ディスカッション）
第 26 回	テーマ：思春期の健康支援（山田恵 古賀玉緒） 保健指導企画書作成(2) 担当教員の助言をいかし、思春期教育企画書を修正する。（グループワーク・ディスカッション）
第 27 回	テーマ：思春期の健康支援（山田恵 古賀玉緒） 教材・資料作成(3) 担当教員の助言をいかし、思春期教育にて活用する教材・資料を作成する。（グループワーク・ディスカッション）
第 28 回	テーマ：思春期の健康支援（山田恵 古賀玉緒） 教材・資料作成(4) 教材を用いてグループごとにデモンストレーションを行う。（グループワーク・ディスカッション）
第 29 回	テーマ：思春期の健康支援（古賀玉緒 山田恵） 思春期健康教育の実際(5)

	担当教員の助言をいかし、思春期教育実施にむけた準備を完成させる。（グループワーク・ディスカッション）
第 30 回	テーマ：受胎調節の諸問題 （古賀玉緒 ） 受胎調節に関する基本的知識や保健指導の方法に関する理解を確認する。（小テスト）
テキスト	必要に応じて参考図書の提示や資料を配布します。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	小テストは採点後に解説し、レポート等の提出物については適宜フィードバックやコメントを提示して返却します。
課題に対するフィードバックの方法	個人ワーク、グループワークを活かし、学習を深めましょう。 演習では、身だしなみを整えたうえで臨んで下さい。また、演習の準備・後片付けも自主的に行って下さい。 感染予防ガイドラインを遵守し感染予防に努めましょう。
学生へのメッセージ・コメント	